

ましばやし

増林地区コミュニティ推進協議会ホームページのURL http://homepage3.nifty.com/mashibayashi_comi/index.htm

発行／増林地区コミュニティ推進協議会 ☎ 343-0011 越谷市増林2丁目82番地 増林地区センター内 ☎ 962-2855

去る9月8日、東中学校体育館において同校12代卒業生（大字増林生まれ）の鈴木健司氏による記念講演会が全校生徒、保護者を集めて行われました。

氏は中
学・高校
生の頃、
国語が一
番苦手で
面白みが
解らずテ
ストの結
果も良く
ない、嫌
いだと勉
強しない
ので余計
悪くなり
特に答え
が一つで
ない事に
非常にい
らいらし



ていました。むしろ理科が好きでしたから毎日白衣を着て実験ばかりしていたある日宮沢賢治の作品と出会い、強く惹かれ、人生変わってしまった(俗にいうイカレてしまった)そうです。なぜ惹かれたかわからないが「いいなあ」と感じ童話全集を読破し、難解だといわれる詩も解りたいと勉強をしました。宮沢作品の面白さはストーリーの展開と表現にあり、その語意とリズムを持つ表現がユニークで不思議な驚きを体験させるところが、ますます好きになりました。こうして研究者となった経緯を語った後、非常に理解し難い、代表作といわれる「やまなし」のコピーを生徒、保護者に渡し自ら読みあげ授業再現のようでした。聞いた事のない面白い言葉が飛び出します。氏は、宮沢作品を良く読んでほしい、今解らなくても後で読み返した時、こんなに良い作品だったのかと気付くであろう。また良い作品とは自分の予想を大きく覆す展開があり、大きければ大きいほどそこに生まれる感動がある。人生も予想を覆される処に面白みがあり、人生ってなんだろう？生きるってなんだろう？と考えると予想を裏切られた展開が、人間的であるかどうか、大切で、それは、一人一人が考えていなければならぬことです。このような観点から不思議さは、単なる不思議さではなく深い洞察から生まれてくることに気付か



賢治は、37歳で逝ってしまいました。が50歳を超える私は、まだまだ賢治の考える処に到達しておらず、これからも作品の後を追って生きて行くことになるでしょうと結びました。

鈴木氏の講演は、私達に想像を膨らませ時に優しく、時に不思議な語りかけの構成で魅了しました。



〈生徒の感想〉

私は鈴木先生のお話を聞いて、宮沢賢治の書いた物語などを含め、さまざまな物語などに深い味わいがあることを知りました。確かに、少しだけ難しいお話でしたが、すこく心に残る内容のもので、とてもよかったです。「分かりやすいものだけがいい作品ではない」ということがとても心に残っています。不思議だからこそ、そこがまたその物語の素晴らしさにつながる、そんな思いがすぐく伝わってきました。私も、そんな不思議だけれど素敵な面白さが分かるようになりたいと思いました。「分かりやすいもの」だけを読むのではなく、考えることこそ素晴らしい作品を見つける方法だと言うことを、先生から学ぶことができました。



東越谷三・四丁目自治会を紹介すると皆さん、エッ！三・四丁目ですかと疑問に思われる方が多いと思います。

その通りです。越谷市内に300余の自治会がありますが当自治会のみようです。

昭和46年に完了した東小林土地地区画整理事業に伴い旧東小林と宮前の一部が東越谷四丁目と両地区をまたいで町名変更されました。

さて、東小林の方々は日常の交流を始め生活の主体が増林地区の人々との深い繋がりで成り立っており、そんな関係で東越谷三丁目と合体し現在の自治会名となったものです。

立地は、「市役所前中央通」と通称「産業道路」の交差地を中心に東西南北に跨った地域で、概観しますと「市役所」と「しらこぼと橋」に「越谷警察署」、そして「市立図書館」で描いた円周のごく内側のその内周と想像して下さい。

やや中心に第二公園があり、東越谷地域の商・住の中心でありながら緑豊かで環境の良い、日常生活には利便な地域です。

昭和48年に自治会を設立、同時に青年部・婦人部をスタートさせ、同年9月に子ども会育成連絡協議会が発足、当初100世帯前後が年を追って、現在では600世帯（自治会加入世帯450）です。

自治会館も設立時に完成、その後、改築拡張し大切に活用しております。

自治会活動は、文化・スポーツ」等々多岐に渡りますが「地域のコミュニケーション」と「きれいで明るい住みよい自治会」をスローガンに進めております。

防犯パトロールと夜警の歴史は古く昭和57年以来連綿と、また平成7年市がゴミ分別回収のスタートと時を同じうして従来の自治会組織を活用しつつステーションの管理・運営と粗大ゴミの取扱いを専科としたステーション委員会を立ち上げ、今大いに効果を挙げております。

平成10年に「防災備蓄倉庫」、平成11年に「腐葉土醸成所」と併せて東越谷第二公園内に「自治会花壇」と「フジバカマ増栽コーナー」を設けるなど防災に環境に力を合わせております。

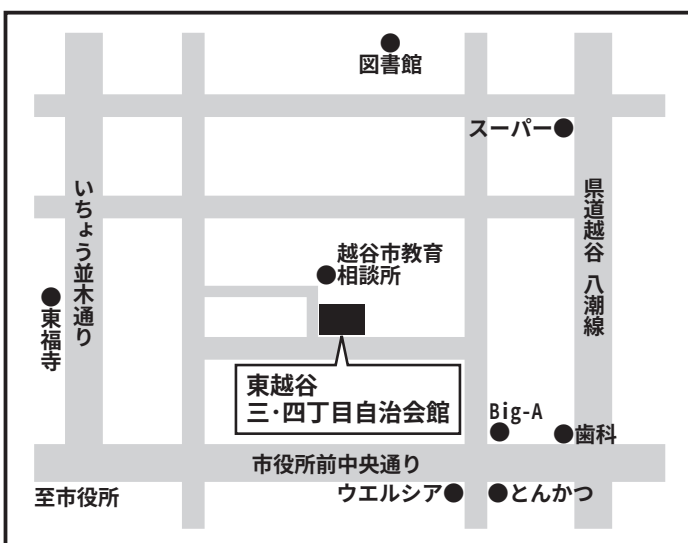
明るく犯罪の少ない街づくりに街路灯の設置（自治会29ヶ所）と補修、学童補導や登下校時の「見守りパトロール」と防犯に、事業は地区の体育祭、ときめき



▲防災備蓄倉庫と腐葉土醸成所

チャレンジを始め、ソフトボール、バレーボール等の種目別に積極的に参加し、自治会にあつては納涼大会、運動会、クリスマス会と子どもから大人まで会員は勿論のこと、近隣の人をも巻き込んで楽しみながらのコミュニケーション作りを、ひいては会員増加の一助になればと。

これからも社会・地域の変化への対応、望まれる自治会への対応に会員全員で「すばらしい自治会」作りを目指します。



至市役所

2006ときめきチャレンジましばやし 10/1



開会セレモニー



花田小の演奏会



カボチャで作ったかかし 第1位作品



スポーツチャンバラ どちらが優位!?



なにを造ったの!?



好評！野菜の販売



いらっしゃいませ!! フリーマーケット



小麦まんじゅう実演中

越谷交通安全協会増林支部

支部長 林

晃

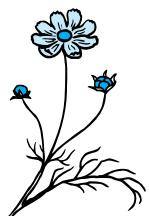
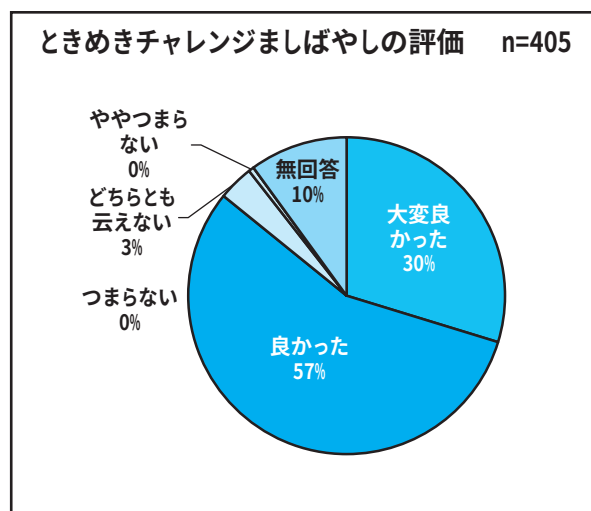
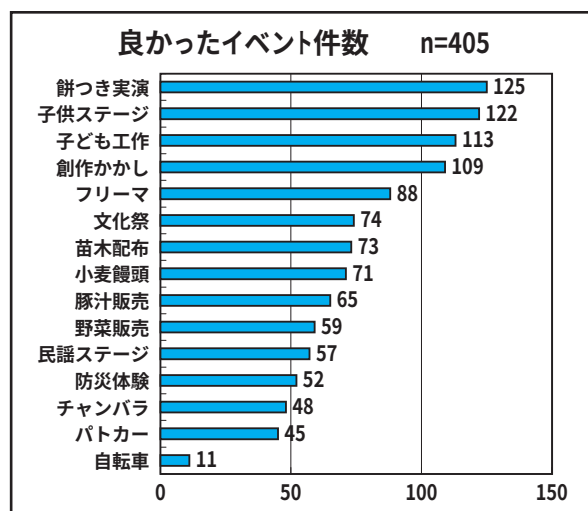
交通安全協会増林支部は、越谷市交通安全協会十一支部の一つに位置し、昭和二十八年から先輩各位のご協力をいただき、現在、三十八名の会員で活動しております。具体的活動は、越谷市全体事業として、全国春・秋の交通安全実施に伴う地区内での広報活動、街頭キャンペーン、各出発式、市民まつりを通じての交通安全活動の推進、県外研修等の事業を実施しております。増林地区内事業としては、全国交通安全運動実施期間中、各役員の協力を得て、地区内三つの小学校で児童の登校時街頭（立哨）活動を実施、地区体育祭、ときめきチャレンジましばやし開催時の交通整理、交通指導等の協力、その他、役員相互の親睦を図るべく、様々な事業を展開しております。

また、地区内の皆様には、ご理解と、ご協力を賜り、特別会員として三四四名の方々にご支援をいただいているところです。

最後に、皆様からのご協力を基に、交通安全協会増林支部役員一同、より一層一丸となり、交通事故防止に積極的に取り組んで参りますので、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

2006ときめきチャレンジましばやし アンケート結果

10月1日に行った「2006ときめきチャレンジましばやし」の来場者にアンケートをおこないました。アンケートは、スタンプラリーに参加いただいた方858名にご協力をお願いし、405名の方に回答をお寄せいただきました。



編集後記

ある新聞のコラムにダイヤは世界で最も硬い石。この石を磨くのはダイヤしかないという。人も同じである。とあった。自分を磨くのは自分の可能性を信じ、人と人との絆によって光り輝くとも。人とのつながりを大切にしながら、切磋琢磨し、これからは広報のお役に立てるよう努力したいと思います。